

市議会議員 各位

「南ロータリーの形」の再検討を！

調布の今を生きる我々にとってはもちろん、次の時代に生きる子供たちにとっては故郷であり、調布市の顔となる調布駅前広場の再開発は、大いにわくわくする胸躍ることである筈でした。

ところが現在、市によって進められている計画は、1時代2時代前のモータリゼーション華やかなりし頃の発想のままのもので、地球レベルで急速に変化している現在の状況に「未来志向、で適切に対応しているとは言えません。

地球温暖化・自然災害の激化、世界の街づくりの考え方が車から人重視へ・国の方針も「グリーンインフラ政策」や昨年制定された『歩行者利便増進道路制度（通称：ほこみち）』など、そしてまさに地球戦争の様相さえ呈しているコロナ禍対策など、あらゆるものが新しい時代への価値観の変化を突きつけていますが、調布市の取り組みはあまりに無自覚、迅速にして十分とは全く思えない状況です。

それに対する市議の皆さんの認識と対応は、いかがなものなのでしょうか？

市議会のやりとりを見ていても、未来を見据えた議論がなされているようには拝見できません。特に、駅前再開発問題はもはや解決済み、何でも良いから「令和7年の完成を！」という声しか聞けません。しかも「市民の意見を聞き過ぎだ」とか「いつまで市民の意見を聞くつもりか？」とか、一市民として看過できない議員の発言が市議会の大勢を動かしているような感さえあります。

現在すすめられている計画案の最大の欠点は、元の楕円の東側をそのまま残しているため東南の角に活用しにくい大きなエリアを残してしまっていること。当初、市民の憩いのひろばにすると言い、現在は苦し紛れに「みどりの庭園」ゾーンなどと言っていますが、そこは日当たり悪く周囲の環境悪く、市民の憩う「庭園」には最も適さないゾーンです。

何故、そんな空間ができてしまっているのか？何故、それを改めて考えることができないのか、市の説明は「関係機関と話し合いを積み重ねてきたことだから元の案の変更は最小限に」と、そして「変更に関しては特に警察のハードルが高いのだ」とも。

そこで、警察の意図するところを確認しに行ってきました。3人の担当者が対応してくれて「警察ではロータリーの形にまで意見を言うことはない。ただ、提出された計画で安全性が確保されているかどうかをチェックするだけです」との答えです。市の説明はウソ、とまでは言いませんが「マヤカシ、だったことはご承知だったでしょうか？。

また、ロータリー変更の計画は「バスが正着できるようにするため」と言っていますが、市民側の専門家が検証して「この案では正着できないのではないか」という指摘に、市はそれを認め「実はできないのだが、警察も大目に見られる範囲だということで承認してもらっている」との弁明です。などなど、他、いくつかの疑念のウラをとって確認してみると、積み重ねとはまさに「ウソとゴマカシの積み重ね」です。

「樹木の会」では、キレイな楕円形でしかも東南の角にムダな空間を作らず、南からの動線も大回りにならない案、さらに、伐採予定となっている現在のバス停際にある2本の楠も残せるロータリー案まで提案しているのですが「一考だにしようとせず「ロータリーの形は市民の意見を聞かず市の責任で決める」との一点張りです。

「市の責任」は当たり前です。「市の責任」とは何なのでしょう？。ちなみに、地下駐輪場建設のためと言って樹木伐採してしまった後に、地下駐輪場建設ができないということになったら、誰がどう責任を取るのか？ということ問い詰めに市長は「私が一生懸命やります」と。その後、誰が何の責任を取ったでしょう？

この状況下で、市議の皆さんは何を以ってこの案で良しと承認しているのでしょうか？何方でも、特に大きな会派のどなたか、納得できる説明を聞かせて頂けませんか？

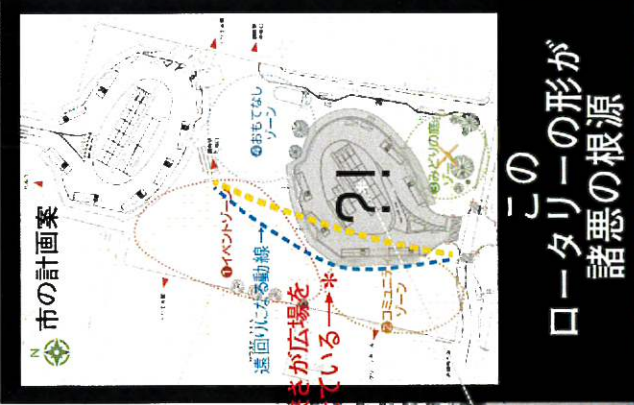
以上、書いてもキリないものがありますが、時代は大きく動いています。ここは是非もう一度立ち止まって、大袈裟にではなく地球の未来から、明日の調布の有様から、駅前問題を再度考えていただきたく、切にお願い申し上げたいと思うところです。

調布駅前南口広場 市の計画とそれに対する提案

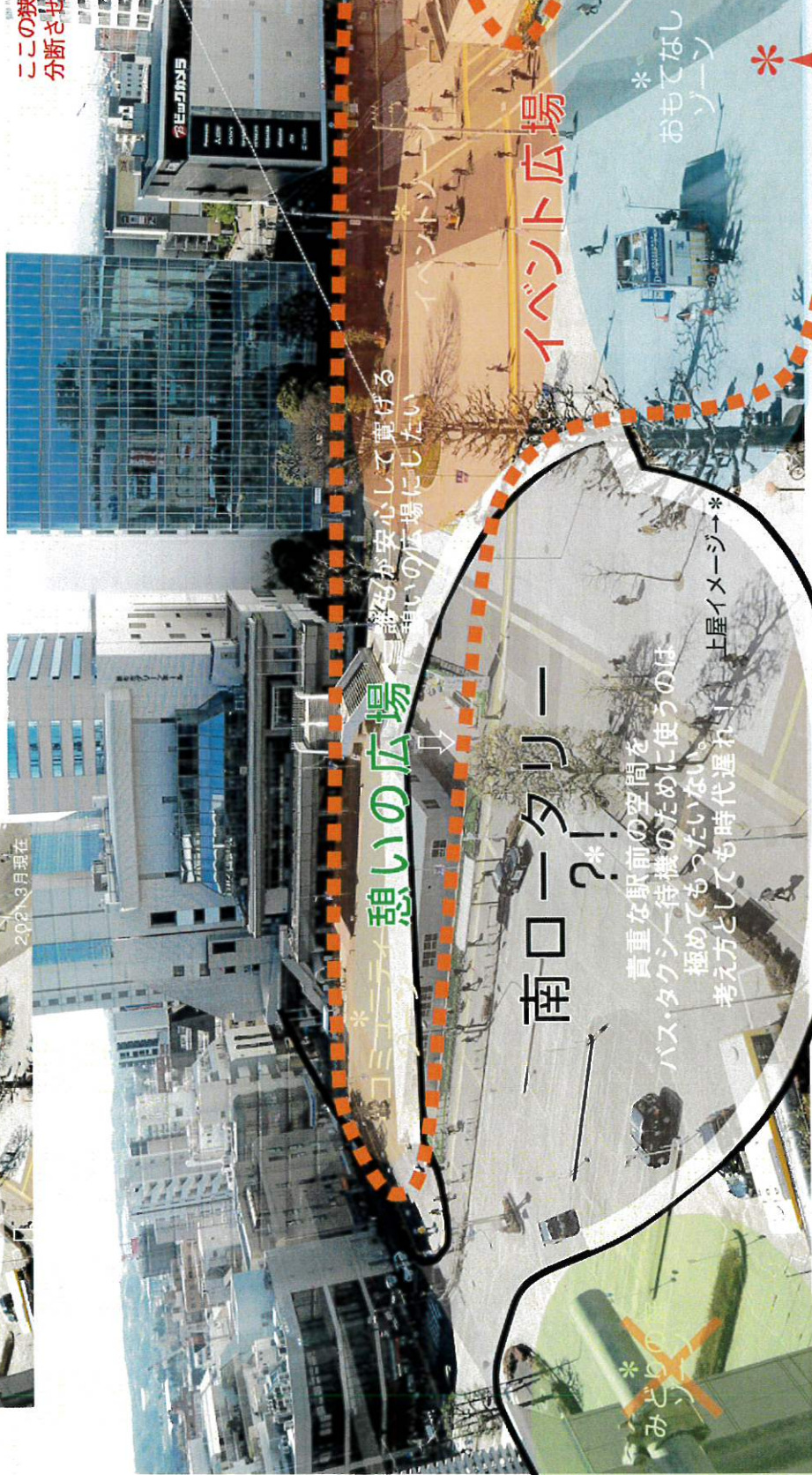
* 計画中の南口はグリーンホール前のひろばが大幅に縮小され、イベントゾーンとコミュニティゾーンに分断され、歩行動線も遠回りになり、今後の活用もしにくくなる。



2021.3月現在



このロータリーの形が諸悪の根源



憩いの広場
誰もが安心して暮らせる憩いの広場にしたい

南口ロータリー
貴重な駅前空間を「バス・タクシー待機のために使うのは極めてもったいない。考え方としても時代遅れ」上屋イメージ*

* みどりの庭ゾーン
この東南の角は日当たり悪く周囲の環境も良くなり「みどりの庭」に不適切！

* コミュニティゾーン
グリーンホール前の広場が斜めに切られて小さくなり幅広い活用が出来なくなる。

* 南口ロータリー
楕円が斜めにカットされるといふ不自然で訳のわからない形を次世代の人に説明できない。

イベント広場と憩いの広場
大きく一体となった広場があったからこそ幅広い活用・運用が考えられる。アイデア次第で収入の確保もでき将来に夢広がるものとなる。

調布市議会
-3, 4, 30
収第 号